

協働事業に関する企画書

団体名 狭山ふるさと会

1 事業名	狭山ふるさとOXクイズ
2 事業の詳細	人口減少の傾向を止めるには、子どもや若者達が狭山をふるさとと想う気持ちを醸成することが必要であるとの発想から企画しました。(別紙参照) ・「狭山ふるさとOXクイズ」は第1歩です。 ・ミニガイドブック(解説書)は元教師が監修します。 ・クイズは、市民交流センターで開催します。 ・回答者は、小学生グループ30組を想定しています。 ・参加者には、ミニガイドブックを配布します。 ・最優秀賞は、次回の運営参加権です。
3 実施体制	・狭山市市民交流センターと共催です。 ・狭山ふるさと会が実行部隊(10名以上)となります。
4 役割分担	【提案団体の役割】 ・副読本「さやま」を素材にミニガイドブックを作成します ・スタッフ(司会、安全担当、など)を担当します。 ・垂れ看板や小物、表彰や副賞を手配します。 ・最優秀グループと次年度に向けて見直しをします。 【市の役割】 ・会場提供と会場における諸設備の利用をお願いします ・小学生グループの募集に係る広報支援をお願いします。
5 協働の効果	・信頼性が高まることを期待しています。 ・狭山ふるさと検定創設に向けた組織化支援です。 ・資金補助により、第一歩が踏み出せます。
6 事業のアピールポイント	狭山市でも人口減少、少子高齢化が課題であり、解決策として子供達や親世代が狭山をふるさとと想い、将来生活拠点としたい気持ちを醸成することが肝要と考えています。 その一歩が「狭山ふるさとOXクイズ」です。 この事業を通じて知名度を高めて、「狭山ふるさとガイドブック」、「狭山ふるさと検定」へと発展させたいと考えています。